



平成27年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム
コード番号 9445 URL <http://www.forvaltel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷井 剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山本 忠幸

TEL 03-3233-1301

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,949	3.4	136	14.8	128	13.5	89	23.9
26年3月期第1四半期	3,053	3.2	118	84.1	113	83.4	118	255.6

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 90百万円 (23.7%) 26年3月期第1四半期 118百万円 (272.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第1四半期	5.38	
26年3月期第1四半期	7.07	

(注) 平成25年10月1日付にて、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年3月期第1四半期	4,729	1,748	36.8	104.15
26年3月期	4,980	1,792	35.8	106.77

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,738百万円 26年3月期 1,782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期		700.00		8.00	
27年3月期					
27年3月期(予想)		7.00		8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式を100株とする単元株制度を採用しています。なお、平成26年3月期第2四半期末の配当金については、当該株式分割が行われる前の金額を記載しております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	12,300	1.3	510	14.2	500	14.9	330	21.0	19.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	16,693,200 株	26年3月期	16,693,200 株
期末自己株式数	27年3月期1Q	株	26年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	16,693,200 株	26年3月期1Q	16,693,200 株

(注)平成25年10月1日付にて、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税増税による駆け込み需要の反動が一部には見られるものの、企業収益や雇用環境の改善などにより緩やかな回復基調が続いている一方、原材料や原油価格の高騰、新興国の経済成長鈍化などのマイナス要因もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが中核的な事業領域とする情報通信分野では、引き続きスマートフォン・タブレット端末の普及に伴う、増加したデータ量への対応等が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、おとくライン、FMC (Fixed Mobile Convergence) サービス等「IP&Mobileソリューション」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である㈱FISソリューションズにおいては、光ファイバー対応IP電話「FTフォン(スマートひかり)」、法人を対象とした「おとくライン」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「ツーウェイスマート」を中心に、インターネットサービス、情報通信機器販売等を提供しております。

当社連結子会社である㈱トライ・エックスを中心とするセグメントでは、当社サービスの利用顧客からのニーズが強い「ドキュメント・ソリューション」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社及び当社連結子会社である㈱保険ステーションにおいては、当社サービスを利用している顧客へ「コンサルティング」を提供しております。

これらにより、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が29億49百万円(前年同四半期比3.4%減)、営業利益が1億36百万円(前年同四半期比14.8%増)、経常利益が1億28百万円(前年同四半期比13.5%増)、四半期純利益が89百万円(前年同四半期比23.9%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

《IP & Mobileソリューション事業》

「IP & Mobileソリューション事業」におきましては、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は20億44百万円(前年同四半期比4.6%減)、セグメント利益は24百万円(前年同四半期比351.0%増)となりました。

《ドキュメント・ソリューション事業》

「ドキュメント・ソリューション事業」は、普通印刷、印刷物のプランニング・デザイン等を行っております。当第1四半期連結累計期間の売上高は4億6百万円(前年同四半期比13.9%減)、セグメント利益は40百万円(前年同四半期比40.1%減)となりました。

《コンサルティング事業》

「コンサルティング事業」は、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティサービス等を行っております。当第1四半期連結累計期間の売上高は4億94百万円(前年同四半期比14.0%増)、セグメント利益は74百万円(前年同四半期比58.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は47億29百万円となり、前連結会計年度末比2億50百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少(81百万円)及び受取手形及び売掛金の減少(1億77百万円)によるものであります。

負債の残高は29億81百万円となり、前連結会計年度末比2億7百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少(1億32百万円)、借入金の減少(30百万円)及び未払法人税等の減少(65百万円)によるものであります。

少数株主持分の残高は10百万円となりました。また、純資産の残高は17億48百万円となり、前連結会計年度末比43百万円の減少となりました。これは主に、四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月13日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	894,390	812,434
受取手形及び売掛金	1,666,653	1,489,441
商品及び製品	58,949	47,825
仕掛品	61,892	39,478
原材料及び貯蔵品	8,338	7,346
その他	823,361	878,521
貸倒引当金	△16,584	△18,603
流動資産合計	3,497,001	3,256,443
固定資産		
有形固定資産	685,466	671,453
無形固定資産		
のれん	71,790	66,760
その他	110,093	106,579
無形固定資産合計	181,883	173,339
投資その他の資産		
その他	682,040	698,048
貸倒引当金	△65,838	△69,351
投資その他の資産合計	616,202	628,697
固定資産合計	1,483,552	1,473,490
資産合計	4,980,553	4,729,933
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,269,173	1,136,182
短期借入金	269,792	265,559
未払金	788,510	813,124
未払法人税等	83,893	18,338
賞与引当金	73,881	31,754
役員賞与引当金	24,350	9,350
その他	263,903	329,553
流動負債合計	2,773,505	2,603,863
固定負債		
長期借入金	240,676	214,177
退職給付に係る負債	116,345	113,645
その他	57,766	49,364
固定負債合計	414,787	377,186
負債合計	3,188,293	2,981,050

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	1,197,621	1,153,943
株主資本合計	1,782,329	1,738,651
少数株主持分	9,930	10,231
純資産合計	1,792,259	1,748,882
負債純資産合計	4,980,553	4,729,933

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,053,448	2,949,817
売上原価	2,425,466	2,230,958
売上総利益	627,982	718,859
販売費及び一般管理費	509,432	582,741
営業利益	118,549	136,117
営業外収益		
受取利息	53	91
保険解約返戻金	1,379	—
違約金収入	—	5,627
その他	1,762	1,799
営業外収益合計	3,194	7,518
営業外費用		
支払利息	3,697	3,081
持分法による投資損失	2,825	12,029
その他	2,064	73
営業外費用合計	8,587	15,184
経常利益	113,156	128,452
特別利益		
投資有価証券売却益	12,886	—
特別利益合計	12,886	—
特別損失		
固定資産除却損	—	8
減損損失	20,391	3,583
特別損失合計	20,391	3,591
税金等調整前四半期純利益	105,652	124,860
法人税、住民税及び事業税	6,191	17,627
法人税等調整額	△18,733	17,064
法人税等合計	△12,541	34,691
少数株主損益調整前四半期純利益	118,194	90,168
少数株主利益	160	301
四半期純利益	118,034	89,867

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	118,194	90,168
四半期包括利益	118,194	90,168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,034	89,867
少数株主に係る四半期包括利益	160	301

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,143,587	472,073	433,888	3,049,548	3,900	3,053,448
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,147	1,929	1,845	7,923	—	7,923
計	2,147,734	474,002	435,734	3,057,472	3,900	3,061,372
セグメント利益	5,348	67,515	47,394	120,258	3,101	123,359

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	120,258
「その他」の区分の利益	3,101
セグメント間取引消去	219
のれんの償却額	△5,030
四半期連結損益計算書の営業利益	118,549

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「IP&Mobileソリューション事業」セグメントにおいて遊休資産の減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において15,119千円であります。

また、「コンサルティング事業」セグメントにおいてソフトウェアを減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において5,271千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,044,841	406,460	494,615	2,945,917	3,900	2,949,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,459	2,283	1,495	9,238	—	9,238
計	2,050,301	408,743	496,111	2,955,156	3,900	2,959,056
セグメント利益	24,120	40,444	74,911	139,475	1,576	141,052

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	139,475
「その他」の区分の利益	1,576
セグメント間取引消去	96
のれんの償却額	△5,030
四半期連結損益計算書の営業利益	136,117

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「IP&Mobileソリューション事業」セグメントにおいて遊休資産の減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において3,583千円であります。